

■平成20年度豚疾病特殊講習会日程

場所：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所 期間：平成20年6月30日～7月11日

月日	曜日	午 前 (9時～12時)		午 後 (13時～16時)	
6/30	月	開講式 9:00～	豚疾病をめぐる情勢 (消費・安全局動物衛生課防疫業務班 課長補佐 荻窪 恭明)	豚の繁殖管理 (麻布大学獣医学部 准教授 伊東 正吾)	
7/1	火	豚の大腸菌症 (動物疾病対策センター 生物学的製剤製造グループ 品質管理科長 小林 秀樹)	豚丹毒の診断と予防 (動物疾病対策センター 生物学的製剤製造グループ グループ長 今田由美子)	豚感染症検査データの活用について (日清丸紅飼料(株) 畜産研究所検査センター 所長 矢原 芳博)	
2	水	豚胸膜肺炎 (動物疾病対策センター 生物学的製剤製造グループ 安全管理科長 伊藤 博哉)	豚の原虫病 (細菌・寄生虫研究チーム 上席研究員 中村 義男)	豚の繁殖障害 (生産病研究チーム 主任研究員 鈴木 千恵)	
3	木	豚繁殖・呼吸器障害症候群 (PRRS) (ウイルス病研究チーム チーム長 恒光 裕)		マイコプラズマ (次世代製剤開発チーム 主任研究員 宗田 吉広)	豚レンサ球菌症 (細菌・寄生虫研究チーム 主任研究員 高松 大輔)
4	金	豚のウイルス性下痢症 (ウイルス病研究チーム 研究員 宮崎 綾子)	離乳後多臓器性発育不良症候群 (PMWS) (ウイルス病研究チーム 主任研究員 鈴木 孝子)	豚のサルモネラ感染症 (動物医薬品検査所 抗生物質 製剤検査室長 浅井 鉄夫)	豚のウイルス性ワクチン (動物医薬品検査所 特殊管理検査室 青木 奈緒)
7	月	豚病の病理学的診断 (動物疾病対策センター 疾病診断室長 久保 正法 疫学研究チーム 主任研究員 芝原 友幸)		養豚場の飼養管理 (日本大学生物資源科学部 教授 酒井 健夫)	
8	火	豚コレラ (国際重要伝染病研究チーム 上席研究員 山田 俊治)	オーエスキー病 (国際重要伝染病研究チーム 上席研究員 山田 俊治)	大規模養豚における飼養管理と衛生対策 (有)サミットベテリナリーサービス 所長 石川 弘道)	
9	水	豚のE型肝炎ウイルス (日本獣医生命科学大学 教授 池田 秀利)	豚のストレスと生体反応 (動物疾病対策センター 専門員 高橋 秀之)	海外悪性伝染病 (国際重要伝染病研究チーム 主任研究員 大橋 誠一)	
10	木	豚の寄生虫病 (人獣感染症研究チーム 主任研究員 辻 尚利)	養豚をめぐる最近の課題と対応方向 (生産局畜産部畜産振興課 畜産専門官 熊谷 法夫)	豚飼料給与と技術の新しい知見について (畜産草地研究所分子栄養研究チーム 上席研究員 勝俣 昌也)	
11	金	豚インフルエンザ (人獣感染症研究チーム 主任研究員 西藤 岳彦)	閉講式 11:00～	個別研修	

TOPICS

衆議院農林水産委員会ご視察

平成20年6月4日、衆議院農林水産委員会によるつくば市の農林水産省関係研究機関の視察がありました。動物衛生研究所には宮腰光寛委員長をはじめとする9名の委員の訪問がありました。また当日のご視察には、衆議院から5名、農林水産省大臣官房から2名、さらに竹谷廣之事務局長をはじめとする農林水産技術会議事務局からは7名の随行がありました。これに対して、農研機構本部からは堀江理事長ならびに西川副理事長が、また当研究所からは13名の職員がお出迎えました。当研究所動物衛生高度研究施設の会議室に到着後、堀江理事長および村上所長の歓迎の挨拶に続き、山口研究管理監ならびに毛利プリオン病研究センター長から、それぞれ高病原性鳥インフルエンザや牛海綿状脳症に関わる最近の研究成果を中心とした当研究所の取り組みが説明されました。その後、会議室にあるモニターで実際の感染動物の映像を見ながらの動物衛生高度研究施設内の概要

説明、ロビーに移り、鳥インフルエンザウイルスの亜型判定に用いる赤血球凝集抑制反応試験、さらに牛海綿状脳症に罹った牛の脳組織病変の顕微鏡観察等、担当研究者から両疾病の診断に関する実物の検査機材や試料を用いた説明が行われました。衆議院農林水産委員会の皆様には、

熱心なご質問をされるなど、終始当研究所職員の説明を興味深く聞いていただきました。僅か約40分間のご視察ではありましたが、当研究所の研究内容と診断業務について、さらにご理解いただく好機となりました。

(研究管理監)

